

ロボコン in あいづ 2016 (大会要項・競技規則)

「災害から命と宝を守れ！！救出大作戦ロボット競技大会」

2016. 6. 20版

- 1 競技内容 自分の陣地に埋め込んである谷（かご）にあるピンポン球（宝）と救出者（ヤクルト空容器）を谷から救出して（すくい上げ）自分の陣地内にある救出場所に救助場所、保管場所に運び点数を競う競技。その場所に確実に選別して救助、保管しその合計し得点を競う。得点が高いチームが勝利となる。

2 ロボットの規格および製作規定

- (1) 競技台数(参加チーム数)

50台(50チーム)を最大とする。

- (2) サイズ(大きさ)

① 寸法 横250mm×縦250mm×高さ300mm以内(リモートコントローラーを含まない)

(コート内を自由に走行可能なサイズは横200mm×縦200mmである)

② 重量 3kg以内(リモートコントローラー等すべて含む)

- (3) 動力源

① 動力源は乾電池を使用し、その他、バネ、ゴム等の使用も可能である。ただし、燃焼や異臭を出すガス等、内燃機関や人体や周囲に影響を与えるものは使用禁止とする。

② 使用する乾電池はロボット本体およびリモートコントローラーに搭載することができる。その数および電圧に制限はない。外部からの供給はできない。

- (4) 制御方法

① 主催者から支給された4ch・4スティックコントローラー(タミヤ製・以下「コントローラー」と表示)による有線によるリモートコントロールとする。主催者から支給されたコントローラーを改造することは自由とする。

② ロボット本体とコントローラーの間は、リモコンコード(電線)のみとする。

③ 本体からのリモコンコード取り出し口の高さはコートから100mmとし、コードを一つにまとめること。

④ リモコンコードの長さはロボット本体の取り出し口から1500mm以上2000mm以内とする。

⑤ スタート後のロボットの展開については、横と縦および高さの、それぞれ倍の大きさ(500mm×500mm×高さ無制限)までの拡大を認める。

主催者側で準備するもの 写真参照 (参加チームに無料で配布するもの)

◎① 4ch・4スティックコントローラー

◎② シングルギアボックス(モータ付)2個

◎⑤ ナロータイヤ2個

(注意事項) ◎印のものは必ず使用すること。使用していない場合は、車検で失格とする。

- (5) その他のパーツについては自由選択とする。主催者側で準備するもの以外に部品を取付けること。
- (6) 製作のルール
ロボットは、出場チームが製作したものに限る。ただし、小学生チームについては、担当の先生、保護者や、会津工業高校、喜多方桐桜高校の学校開放講座(後日案内)において高校生の指導を受けながら製作することができる。

ロボットづくりで相談・アドバイスがほしいチームは両校の担当教員にご連絡下さい。

参加資格

- (1) 参加チームは、操作員1名、整備員1名の2名で構成し、参加ロボットは1チーム1台とする。
ただし、小学生および中学生のチームについては、教員または保護者を責任者として登録しなければならない。大会の引率については、責任者の判断とする。
- (2) 参加資格は、次の通りとする。(原則)
○ 会津地区に住む・通う小学4年生以上の人(ただし、必ず同じ所属団体の2名のペアでチームを組む)親子チームは不可。

4 参加申込み

所定の「ロボコンinあいづ2016 競技参加申込書」に記入のうえ、県立喜多方桐桜高等学校「ロボコンinあいづ実行委員会2016」宛にファックスで参加を申し込む。参加チームは、実行委員会での抽選により決定する。

参加募集期間:6月24日(金)～7月15日(金)

参加申込み締切り日時:7月15日(金)16時30分

問い合わせ先: 県立喜多方桐桜高等学校「ロボコンinあいづ2016 実行委員会」

事務担当 佐藤 秀幸(建設科)

TEL:0241-22-1230 FAX: 0241-22-9852